

国際交流の在り方を模索

米沢 イベント参加者 パネル討論

江戸時代に慶長遣欧使節団を率いた支倉常長の出生地・米沢市関地区などを走ったランイベントの参加者を招いたパネルディスカッションが8日、同市の伝国の杜で開かれた。参加者はイベントを振り返り、国際交流の在り方を考えた。イベントに参加した、いずれも米沢市の司法書士・

が大切」とそれぞれの収穫を披露した。

イベントは4月4日に開かれた。日本とスペインの交流に取り組む支倉常長日西文化協会（同市、九里広志理事長）が企画。使節団がスペイン・マドリッドで国王に謁見して410年となるのを記念した。使節団員の子孫に当たる人などスペイン人2人も来日し、一緒に走った。

（斎藤健太）



ランイベントを振り返る（右から）高橋輝さん、林啓太さん、情野逸平さん
＝米沢市・伝国の杜